

【玉里地区の農用地等面積】 904.7 ha

うち 【田】 654.5 ha 【畠】 223.9 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 776.3 ha)

- 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 57.3ha
- 玉里地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 179.8 ha
- 主な生産品目：水稻、野菜・りんご、肉用牛（繁殖・肥育）など

(令和7年8月26日現在)

地域農業の課題

【生産基盤の脆弱化】

土地・インフラの問題

- 中山間地域特有の非効率な圃場（急傾斜、小区画、狭小農道）（玉川、峯の後、大森）

- 基盤整備の遅れと耕作放棄地の増加（玉川、峯の後、大森、大塚）

担い手の問題

- 農業従事者の高齢化と後継者不足
- 離農・規模縮小の進行（大塚）

【経営環境の悪化】

- 収益性の低下（農産物価格の低迷、生産費の上昇）（大森、大塚）

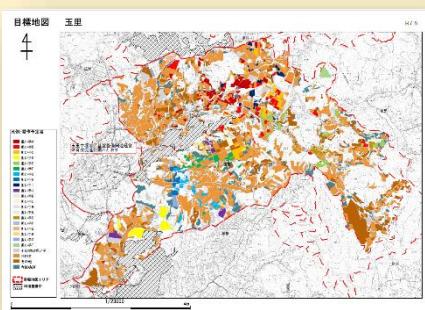
- 鳥獣被害の深刻化（イノシシ、シカ）と対策の不備（玉川、峯の後）

【地域活力の低下】

- 共同活動（水路管理等）の担い手高齢化（玉川、峯の後）

- 将来への不安と農業継続へのモチベーション維持の困難さ

玉里地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

地域農業の方向性

【持続可能な農業生産の確立】

生産品目の強化と多角化

- 主食用米を主軸とした複合経営(飼料用米、野菜等)(大塚)
- 付加価値向上(特別栽培、有機・減農薬農業)(玉川、峯の後、大森、大塚)
- 畜産振興(稻作との連携)(大塚)
- 新たな発想の導入(景観作物等の検討)(大森)

生産効率の向上

- 基盤整備の推進と国・県・市への働きかけ(大塚)
- スマート農業の推進(ドローン活用等)(大塚)

【農地の効率的な利用と保全】

農地の集積・集約

- 担い手への集積と農地中間管理機構の活用を基本方針とする

農地の保全管理

- 日本型直接支払制度等の活用(玉川、峯の後、大塚)
- 営農困難農地の環境整備(有害鳥獣緩衝地化など)

【多様な担い手の確保・育成と連携強化】

担い手の確保と育成

- 新規就農者や法人等、多様な経営体の確保・育成
- 若い世代による新組織設立の検討(大森)
- 家族内での農業参加の促進(大塚)

鳥獣被害対策の強化

- 防護柵設置、捕獲連携、人材育成の実施(玉川、峯の後)

このダイジェスト版を「地域の話し合いに使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

*個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(Tel 0197-34-2371)

